

麻酔システム仕様書 (2 台)

換気モードは従量式(VC)、従圧式(PC)、圧補正従量式(PRVC)、プレッシャーサポート(PS)、SIMV(VC)+PS、SIMV(PC)+PS であること

設定した吸気酸素濃度と呼気麻酔薬濃度に到達するように、自動でフレッシュガスを調節する機能を有すること。また到達する時間も調節できること

使用した吸入麻酔薬の使用量を表示する機能を有すること

吸入酸素濃度が 20.5%以下の状態で 20 秒以上続くと、自動的に酸素濃度とフレッシュガスを上昇させる機能を有すること。(O₂ ガード機能)

肺泡虚脱を防止するために段階的 (ステップワイズ方式) にて行う自動ラングリクルートメント機能を有すること

換気量は 50ml~1600ml の範囲以上で設定できること

呼気終末陽圧(PEEP)は 0cmH₂O~50 cmH₂O の範囲以上で設定できること

気化器は電子インジェクション方式で容量は 300ml 以上であること

気化器はデスフルランとセボフルランであること

デスフルラン用気化器は暖気するための外部電源が不要であること

コントロールパネルの波形や数値を視認できるモニタ部分は 15"画面の LED ディスプレイであること

ガスモジュールを搭載していること

本体呼気回路側に回路を渦巻き状にしたユニットを有し、ここより再呼吸のガスが供給できること。またこのユニットは消毒・滅菌が可能なこと

麻酔記録システムと接続できること

定期交換部品を含む年 1 回の点検保守費用の見積もりを別途提出のこと